

公の施設目標管理型評価書【新潟市水族館】

施設名	新潟市水族館				
管理者名	公益財団法人新潟市海洋河川文化財団	指定期間	平成31年4月1日	～	令和6年3月31日
新潟市主管課	新潟市文化スポーツ部文化政策課				
所在地	区名	中央区	住所	西船見町5932番地445	
根拠法令	—				
設置条例	新潟市水族館条例				
施設概要	設置：平成2年7月(平成25年7月リニューアル) 施設規模：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上2階・地下1階、敷地面積40,171㎡・延床面積11,491.84㎡ 施設内容：アプローチ棟、本館(日本海大水槽(800トン)、個水槽、体験・学習ゾーン、休憩室(大人150人)、イルカショープール、屋内プール、別館、マリンスafari、ペンギン海岸、にいがたフィールドなど 料金区分：大人1,500円、小人600円、幼児200円				

施設設置目的
魚類、海獣その他の水生動物に関する知識を広め、魚類等への親しみを深めることにより市民の教養と健全な余暇の活用を資するため
管理・運営に関する基本理念、方針等
運営指針 1. 環境と生物との出会い 水族館敷地は、日本海を望み松林に囲まれた良好な環境にあることから、水族館はそこに立地するにふさわしい環境と生物との出会いの広場とする。 2. 新鮮な感動と豊かな情操を育む 生命を知ることにより得られる新鮮な感動を通じて、次代を担う青少年の情操に資する水族館とする。 3. 種の保存と自然保護 飼育技術の向上と国内外の水族館・動物園・水産研究所との情報交換などにより、水族館の社会的使命である「種の保存」と「自然保護」の啓発に努める。 4. 学習の場として 小中学生を主体とした児童・生徒が、生物の生態を学習できると同時に、入館者の様々な知的欲求にも答えることのできる博物館的機能を備えた水族館とする。 5. レクリエーションの場として 文化的レクリエーション施設として、楽しく学習できるよう娯楽性を取り入れる。 6. 「水の都、にいがた」のシンボルとして 日本海、信濃川など「水の都、にいがた」を特色づけている自然と風土を生かしながら、対岸諸国をはじめ世界の魚類や海獣類等を紹介し、環日本海の拠点都市にふさわしい水族館とする。 (開館当時策定の運営指針「マリニア日本海10年のあゆみ」より)

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント	
市民	基準利用者数の達成	入館者数年間50万人以上	418,578人・・・評価指標より81,422人少ない	C	新型コロナウイルスの影響のためやむを得ないが、より多くの入館者数の確保に励んでほしい。	
		年間パスポート購入者9,800人以上	14,995人・・・評価指標より5,195人多い	A	目標を大きく上回り、評価できる。	
	広報の充実	ホームページアクセス件数年間50万件以上	トップページへのアクセス件数638,723件・・・評価指標より138,723件多い	A	目標を大きく上回り、評価できる。	
		ホームページ更新件数週10回以上	週平均 25回	A	目標を大きく上回り、評価できる。	
		県外向け広告を行うこと	山形、福島、群馬への折込広告、テレビCM、全国雑誌広告掲載	A	目標を大きく上回り、評価できる。	
	各種サービス別満足度	各種サービス別満足度	「館内アンケート」の「展示内容(生物)に対する満足度」で「満足及び非常に満足」が90%以上	満足及び非常に満足・・・97.4%	A	目標を大きく上回り、評価できる。
			「館内アンケート」の「ショーに対する満足度」で「満足及び非常に満足」が90%以上	満足及び非常に満足・・・94.5%	A	目標を大きく上回り、評価できる。
			「館内アンケート」の「接客に対する満足度」で「普通」以上が90%以上	普通以上・・・98.0%	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	苦情・要望に対する対応	回答が必要な場合、2週間以内に連絡を入れているか。(回答が遅れる旨の連絡でも可)	ホームページ及び市長の手紙への苦情・要望に対し、回答を2週間以内に対応	A		
	事業等の実施	体験・学習ゾーンでのプログラム参加者数2,000人以上	磯のいきもの解説、アクアラボ体験参加者3,654人	A	目標を大きく上回り、評価できる。	
設置目的に合致した特別展示企画を年間4企画以上実施		6企画・・・30周年記念事業「年表」「アカムツ展示への挑戦と復活!ガラ・ルファ」「海を流れるモノ」「ウミガラスってどんな生き物?」「フォトコンテスト受賞展」「新潟のタナゴ」	A	目標を大きく上回り、評価できる。		
設置目的に合致したサービス提供	事業計画書に即した自主事業の実施	26企画・・・いきもの教室3企画、にいがたフィールドガイド、記念日イベント2企画、ナイトツアー、大人向け水族館講座5企画、その他14企画 ※新型コロナウイルスの影響により一部中止あり	A	目標を大きく上回り、評価できる。		

	自然・環境保護活動の実施	自然保護団体等の活動への協力	地元保護団体の観察会への協力、シンポジウムへの協力	A	
		専門的な研究の報告4件以上	「飼育下におけるスズメダイの繁殖」ほか1件	C	自然・環境保護活動の重要性は増しているため、精力的な取り組みを望む。
	社会教育活動の実施	ボランティア会員の活動日数を年間160日以上	登録者数 72人、活動日数45日、延べ活動人数 65人※新型コロナウイルス感染拡大防止のためにより5月末まで活動自粛	C	新型コロナウイルス感染対策を行いつつ、活動を続けて欲しい。
学習支援の受け入れを年間24団体以上（出前講座を含む）		23団体 867人	C	社会教育施設として、精力的な受け入れを望む。	
実習生の受け入れ年間15人以上		0人※新型コロナウイルス感染拡大防止のため受入中止	C	新型コロナウイルス感染対策を行いつつ、受け入れを続けて欲しい。	
財 務	管理運営経費の節減	管理運営経費を指定管理料年度協定額以下	必要な物品購入や委託、修繕工事等を十分精査し経費削減に努めた。	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	市の歳入の増加	使用料収入を年間452,500千円以上	334,293,906円…評価指標より118,206,094円少ない	C	新型コロナウイルスの影響のためやむを得ないが、より多くの収入の確保に励んでほしい。
業 務	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書等に定める事項を遵守	A	
	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	翌月10日までに提出	B	
	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	翌年度4月30日までに提出	B	
	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	改善勧告を受けずに業務を実施	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	緊急連絡網、危機管理フロー	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	防災訓練年1回実施	防災訓練年2回実施、非常放送を用いた館内放送を実施	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	職員全員に対し研修を実施	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	問題なし	A	目標を大きく上回り、評価できる。
人 材	配置人員条件の充足	業務の基準に定める有資格者を配置しているか	業務基準及び業務に必要な有資格者を配置	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	接遇研修を年1回以上実施	職員による接遇研修を年1回実施	A	目標を大きく上回り、評価できる。
		館内研修を年2回以上開催	化学薬品取扱研修 係長以上へのリーダー研修	A	目標を大きく上回り、評価できる。
		研究会や研修会等に参加	(公社)日本動物園水族館協会主催の各種研修会などにリモート参加	A	目標を大きく上回り、評価できる。
	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	問題なし	A	目標を大きく上回り、評価できる。

評価基準

A: 要求水準(=評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。

B: 要求水準(=評価指標)が達成されている。

C: 要求水準(=評価指標)が達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

今年度の入館者数は、418,578人(対前年度比114.9%)、入館料収入は、334,293,906円(対前年度比112.9%)と、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大により影響を大きくうけた1年となった。事業計画書で掲げた入館者数目標値の534,000人、入館料収入目標値481,475千円には遠く及ばず、昨年度と比較しやや回復はしたものの、コロナ禍以前の水準には及ばなかった。昨年度のゴールデンウィークに続いて、9月に新規感染者の拡大に伴い14日間臨時休館を行ったことや変異株「オミクロン株」の急拡大により、まん延防止等重点措置区域に指定されたことに伴い感染防止対策の強化を行うなど、今年度も新型コロナウイルス感染症の状況に応じた管理運営を行った。ただし、年間パスポートの需要は高く、購入者は、「年パスキャンペーン」の実施や、積極的に宣伝を行ったことにより導入以来、最高の購入者数となった。県外への移動が難しい中で、新潟市内の方が多く購入されたと思われる。依然として新潟市民の年間パスポートに対する購入意欲は高く、コロナ禍ではあったものの評価指標である「購入者9,800人以上」を維持し、年間パスポートについても一定の水準を達成できたと考えている。

専門的な技能を持った職員を配置し、水族館の社会的使命を果たすとともに、ハンズオン展示や教育効果の高いプログラムを数多く実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く中、感染症防止対策を実施しながら、多くの方に参加していただき、来館者が快適な時間を過ごせる場を提供するとともに、効率的で円滑な運営に努めた。また、継続して毎月実施したお客様アンケート調査でも展示生物や解説プログラムは高評価を受けている。

経費については、指定管理者として出来る限り節約に努め適切に執行した。9月の感染拡大に伴う臨時休館期間で不要となった光熱水費を約800千円返還した。リニューアル工事で未着手だった建物・設備では、依然として不具合のほか、改修した箇所も不具合が生じている。今後も修繕工事を伴う経費が嵩むことが予想されるため、日常的・定期的に点検を行い、不具合を未然に防ぎ、早期に発見することで被害・損害を少なくするよう努めたい。

新潟市から指定管理者として指定された5年間のうち3年間で終了した。新型コロナウイルスの終息が未だ見えない状況であるが、残りの2年間、法人としても健全な経営ができるよう、開館当初から培ってきた豊富な知識と経験を生かし、多くのお客様に満足していただけるよう職員一丸となって頑張っていきたい。

所管課による総合評価(所見)

令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたが、年間パスポートキャンペーンや各解説プログラムなどにより、精力的に入館者数、入館料収入を確保に努め、また満足度の向上やリピーターの確保に努めたことは評価できる。今後も、より多くの方に楽しんでいただける施設として、効果的な取り組みに期待する。

入館料収入が減少していることに加え、建物・設備の不具合の発生などで困難な状況が続くことが予想されるが、今後も引き続き、経費の削減などにより、健全な経営に努めて欲しい。